失敗しないデータ・ファイル統合の方式と勘所【オンラインライブ】（4125100）

データ活用の重要性が叫ばれています。その基盤になるのがデータの整備です。その要になるデータ・各種ファイル統合についての方式と進め方の勘所をお伝えする実務セミナーです。ユーザー企業における経験及びコンサルテーションから培った経験をお伝えします。

開催日時	2025年6月17日(火) 9:00-16:00ライブ配信
JUAS研修分類	ITアーキテクト・システム企画・IT基盤(IT基盤)、ITアーキテクト・システム企画・IT基盤(システム企画・要求定義)
カテゴリー	IS戦略策定・IS戦略評価・IS企画・IS企画評価　IS戦略実行マネジメント・プロジェクトマネジメント　IS導入（構築）・IS保守 専門スキル
講師	中山嘉之 氏 （株式会社アイ・ティ・イノベーション プリンシパルコンサルタント、元 協和発酵キリン（現：協和キリン）情報システム部長 ） 1982年より協和発酵工業（現・協和キリン）の情報システム部にてDBモデラー兼PMを務める。2005年からシステム部長とアーキテクトの2足のわらじを履き、2010年「エンタープライズ・データHUB」を完成。2013年よりアイ・ティ・イノベーションのコンサルタントに転じ、数多くのユーザ企業のITアーキテクチャの設計に携わる。2023年「エンタープライズアーキテクチャのセオリー」を執筆。
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：35,200円 一般：45,100円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	・データ・ファイルの統合を検討されている方、悩まれている方 ・自社のシステムの今後のビジョン策定に悩まれている方 ・度重なるプロジェクトで自社システムがカオスになってお困りの方 ・ベンダーフリーな最適サービスを選択できる環境になりたい方 ・システム設計の主導権を情報システム部門に取り戻したい方 ・ビジネスとITを密接に結びつけて行きたい方 ・上記のCIO、情報システム部長、IT部門中堅社員、プロジェクトマネージャー、担当者 中級
開催形式	講義・個人演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態
ライブ配信（Zoomミーティング）【セミナーのオンライン受講について 】
■テキスト
開催７日前を目途にマイページ掲載
■開催日までの課題事項
特になし

<<受講者の声>>
・現状が非常に複雑な状態(サイロ化、スパゲッティ化されている)事を前提に、考え方や進め方が説明されている所が実践的であると感じた。
・自社の課題と合致し、大変分かりやすくためになる内容だった。データを中心にすべき重要性を確認できた。
・MDMのポイントをマスタ、トランの観点からそれぞれ網羅的にご説明いただけた
・講師の経験ベースでの事例が豊富で説得力があった。
・実務者が講師をされているので、実体験に基づいた話になっており、また、質問にも的確に回答していただき、業務につながるセミナーと感じた。

◆主な研修内容：
1. 大規模システムのデータに纏わる課題
・ 一元管理不能によるデータ精度問題
・システム間I／Fでのデータの不一致問題
・メタデータ（データの説明データ）定義の課題
・目指す姿が不明なモンスター化の問題

2. DAの位置付と実現ソリューション
・エンタープライズ・アーキテクチャ（EA）の特徴
・データ・アーキテクチャ（DA）を中核にする理由
・Data－Centricな実装ソリューション
・エンタープライズデータの３つの分類
・共通マスタ（R2）と個別マスタ（R1）の配置

3. 基幹系（業務）システムのデータ整備
・マイグレーション（移行）のステップ
＜MDM＞
・MDM（マスタ・データ・マネジメント）
・MMS（マスタ・メンテナンス・システム）
・MDMのメカニズム概要
・MDMの効果試算（例）
＜TR－HUB＞
・トランザクションHUB（TR－HUB）の概要
・TR-HUBの目的及び要件（当時のRFPより）
・トランザクション・スキーマの汎化
・汎用スキーマの可視化について
・TR－HUBの効果

4. 情報系（戦略）システムのデータ整備
＜DWH＞
・企業内の情報生態系マップ
・各種ゾーンの情報生態系の特徴
・各種DWHのビジネス・フィードバック
・セントラルDWHの設計手順
＜REPOSITORY＞
・メタデータ管理の環境とE-RepositoryのUI
・REPOSITORYのメタモデル